

兵高教組
賃金交渉速報
2013年5月22日 **1号**

兵庫県高等学校教職員組合調査部
TEL : 078-341-6745
FAX : 078-351-3185
URL : http://www.hyogo-kokyoso.com
mail : honbu@hyogo-kokyoso.com

**第2回賃金交渉 具体的提案はせず
「国の地方への要請は問題がある」と回答！**

5月21日に第一回目の賃金交渉があり、県教委からは具体的な提案がなされませんでした。しかし県教委から、交渉団は重大な回答を引き出しました。この度の国の要請に基づく地方公務員の賃金削減については「問題がある」。地方交付税を削減するやり方は「理不尽である」と回答しました。

交渉の前に、職場から集められた緊急要求署名2531筆をまず提出しました。



雨松委員長のあいさつ



回答する松田教育次長



新たな賃金削減は行わないことを求める緊急署名提出

冒頭に松田教育次長から今回の国からの要請について説明がありました。交渉団からは、次のようなことを追及しました。

1. 国からの地方への強要の問題
地方自治の本旨に反すること

2. 地方公務員の給与削減の根拠がないこと
人事委員会勧告制度を無視
賃金の決定のルールを破るもの
3. 職場の士気の低下
教職員の生活破壊がすすむもの

4. 地域経済に与えるダメージが大きい
5. 景気回復には、賃下げではなく、
賃上げターゲットで
今回の提案は、撤回しかない！

松田教育次長の回答

「地方自治の本旨」ということについては、「地方公共団体が自らの自由意思に基づく」あるいは「他からの干渉を受けない」という原則でありますので、今回の国のやり方が理不尽なものである。「給与決定の原則」についても「人事委員会の勧告を踏まえて地方公共団体が自主的に決定する」というのが基本です。そして「労使間で真摯に協議を行うことが基本だ」ということは認識しています。

「どれだけ国に物を言ったのか」ということですが、「兵庫県の国の予算編成に対する要望」の中に、今回の国のやり方は問題がある、とはっきり明記して知事以下幹部職員が要望にまわったところ。記者発表の場とか知事の定例会見の場で、知事自らが問題点を指摘していただいております。

この措置についての影響ですが、まず「行革」に基づくカットにつきましては、6年間にも及ぶ非常に長いものとなっています。できるだけ早く財政を再建をはかって、措置を回復させなければならぬという点は十分認識しています。

加えて退職金の引き下げ、さらに今回の措置ということで、職員の皆様の生活に対して多大な影響がある、という意見をいただきました。現場で頑張っていただいている方々にとって士気の低下ということは、兵庫の教育に対して非常に大きな損失だ、という指摘についても重く受け止めたいと思います。このような皆様からいただいたご意見をふまえながら、今後どのような対応ができるのか、さらに検討を進めさせていただきたいとおもいます。

雨松委員長から

今回の地方公務員賃金削減については、その目的・理由、実施方法、そして引き起こされる結果から見て到底許されるものではありません。

その目的・理由ですが総務大臣書簡は「地方公務員給与が高いからとか国の財政状況が厳しいから行うものではない」とした上で「消費税について国民の理解を得ていくためには、まずは公務員が財政改革に取り組む姿勢を示すことが重要」だから実施するとしています。要するに消費税増税の前の見せしめに私たちの賃金を引き下げることです。こんな理不尽なことはありません。

実施方法については、地方自治、地方交付税、そして人事委員会勧告制度の原則に反するということです。地方交付税法は、「国は交付税の交付にあたっては、地方自治の主旨を尊重し、条件を付け、又はその用途を制限してはならない。」と定めています。条件を付け、用途を制限する今回の削減が憲法が定める地方自治の原則、そして地方交付税の主旨に反していることは明らかです。また、賃金は人事委員会勧告に基づく労使交渉での決定するという原則にも明らかに反しています。

次に引き起こされるであろう結果についてです。既に県行革によって年30万円を超える賃金引き下げが実施されています。これに加え、月3万5千円余の削減が加わればローンの支払いができない、子どもの教育費が不足するなどの深刻な事態が生じます。そして職員の士気が低下することも明らかです。

また、景気回復には金融緩和ではなく、賃金引き上げによって本格的な景気回復策を実行すべきだという世論が高まっています。提案そのものを行わないように強く求めるものです。

新たな賃金削減を行わないことを求める署名にご協力をお願いします！賃金削減阻止のために、兵庫県の教育を守るために、高教組に加入して、ともに闘おう！